社会保険診療報酬支払基金
簡単まとめ

Money Forward クラウド

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

社会保険診療報酬支払基金 簡単まとめ

社会保険診療報酬支払基金（支払基金）は、社会保険診療報酬支払基金法に基づく特別民間法人。全国組織で医療機関と保険者（健保組合等）間の診療報酬請求・支払を担う。運営費は保険者の手数料による。

【主な役割と業務フロー】

核心的役割は、保険診療の適正性チェックと診療報酬の「適正審査」「迅速支払」を通じ医療保険制度の信頼性を担保することである。

1. レセプト提出：医療機関がレセプト（診療報酬明細書）を支払基金へ月毎に提出。
2. 審査：支払基金がレセプトの記載事項、診療行為、医薬品等を審査。
   - 2021年9月より導入の新システムではAIも活用し、審査業務の効率化・高度化、都道府県間の審査差異解消を推進。
   - ただし、医療機関による請求時の点検や、支払基金による一部手動確認は継続。
   - 不備や誤りがあるレセプトは医療機関へ返戻され、修正を求める。
3. 支払：審査で適正とされたレセプトに基づき、支払基金が保険者に診療報酬を請求。その後、医療機関へ支払。

© MoneyForward, Inc.

社会保険診療報酬支払基金 簡単まとめ

【近年の主要な変革】

支払基金は医療制度を支える基盤として変革期にある。

- 組織体制の刷新：改正法（2021年4月施行）等により、支部権限の本部への集約、審査業務を全国十数カ所の審査事務センターへ集約。ガバナンス強化・効率化を図る。職員削減目標も設定。
- 医療DXの推進主体へ：オンライン資格確認等システムの安定運用に加え、今後は医療DXに関するシステム開発・運用の中心的役割を担う組織への抜本的改組が計画され、関連法案が国会に提出される見込み（令和7年通常国会）。
- オンライン請求の標準化：医療機関・薬局に対し、レセプトのオンライン請求への移行を強く推奨。手続き効率化を期待。

© MoneyForward, Inc.